

八市財政第351号
平成27年10月26日

各部長・支所長・部次長・
部政策調整審議員・課かい長 様

財 務 部 長

平成28年度予算の編成について

国においては、概算要求と同時に公表した「平成28年度地方財政の課題」において、地方の一般財源総額を平成27年度地方財政計画と実質的に同水準を確保しつつ、地方団体が自主性・主体性を最大限発揮して地方創生に取り組めるよう支援することとしているが、同時に、別枠加算や歳出特別枠といったリーマンショック後の歳入・歳出両面の特別措置について、経済再生に合わせ、危機対応モードから平時モードへの切替えを進めていくとしています。

一方、熊本県においては、国の動向を注視しながら、引き続き、環境変化に対応しうる行財政システムの構築に向けて、更なる見直しに取り組み、限られた経営資源の中で、現在、策定中の「熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標達成に向けた取り組みをはじめ、県勢発展に向けて必要な取り組みを着実に推進していく必要があるとしています。

本市においては、平成28年度が普通交付税（合併算定替）の段階的削減の開始年度にあたることから、歳入面では一般財源の増を見込めず、また、経常収支比率が4年連続で上昇し、財政の硬直化が進んでいる状況でもあり、財政健全化に向けた取り組みを着実に実行しなければ、財源不足が危惧される状況にあります。

一方で、本年度、「まち・ひと・しごと創生」に関する施策についての基本的な計画となる「八代市総合戦略」の策定作業を進めており、今後の本格的な人口減少問題に対し課題等を認識し、危機感をもって人口減少克服と地方創生の取り組みを推進していく必要があります。

平成28年度予算は、こうした考えの下に編成しますので、各部課かいにおかれては、別添「予算編成要領」に基づき、11月30日（月）までに予算要求書を提出されるようお願いいたします。